

SASUKE LIBRARY
町立
指江図書館
TEL0996-88-6500



世界は危険で面白い

渡部 陽一 著

実際に世界中の戦場取材した体験談。彼が実際に見た世界の過酷な現実が手にとるように分かる内容です。

TAKANOSU LIBRARY
町立
鷹巣図書館
TEL0996-86-1111



でんしゃのたび

間瀬 なおたか 作

大きくページが開くパノラマ絵本。前からも後ろからも読めるのがおもしろいです。

新刊紹介

町立図書館おすすめ

図書館においてある最新本の中からおすすめのことをピックアップ。バラエティに富んだ新刊をご紹介します。

Pick Up New publication

長島 文芸

Nagashima Bungai
ながしまぶんげい

明神俳句会

おの 斧入れて生木の匂ふ冬の山
寒夕焼ぎゆつと漬け込む四斗樽
冬の山いのち静かに息すなり
花ハツ手医通ひの目を重ねつつ
寒夕焼喪服の帯を解きほどく
寒夕焼沖より急ぐ船の足
ひもじきの牛の長鳴き寒夕焼け

筑前 初一
二階堂妙子
山寄加代子
淵脇 譲
大堂 早苗
関 佳代美
迫口 君代

長島短歌会

みづれ 雲降る師走に夫は逝きにけり四十年余経つ夜半の風音
「有難ふ」を言ひをりし母は逝き給ひ我ひとり居の空しき宵よ
崖越ゆる海風受けてふはふはと肩に舞ひ来る皇帝ダリア
赤土を割りて冬日にさらさるるじゃが芋は島の生計支ふる
植込みに紅き千両色冴へて年賀の床の間待ちあゐる如く
子等四人巣立ち終りてわが日は安らぎ難し老の侘しさ
なんとなく汚れの目立つ窓ガラス古新聞を湿らせて拭く
朝夕の冷の厳しきこの日頃白菜漬けの身にしむ旨さ
水仙は亡夫の好みし花なればそつと近寄り頬で触れみる

坂之下典子
中山タマエ
浜田美代子
浜畑 松枝
林 ヒロ
本田 幸子
松元 睦子
町田キクエ
吉田 映子

創生短歌会

茎高く黄に咲き盛る石路の花道行く人ら声かけれる
露拭きて物干す時に山の上朝の陽射しの輝きそめ
日照雨降るさなかに掛る虹の橋不知火の空の鮮やかに見ゆ
七日前母を逝かせし今朝まだき競市に出づ仔牛追ひたり

市尾 操
岩下 ち江
岩下 房代
米尾 和子

一般作品

飲め歌え忘年会のクラス会一人残らず消ゆる日は来る
農協にカラー長靴ならびおり農夫のだれにも合わぬむらさき
木を植えることはさみしき杉若木この数年にみな我を越す
隣接の休耕田に目もくれず稲刈済ませ馬鈴薯を植う
好きなのかあんな所が自転車サドルにいつも乗っている猫
牛つなぎ鶏もねむりし柿の木よ昔思えば我老いにけり
一日に山茶花どつさり散っており会っておくべし十人ぐらい

竹之内重信
野村 益信
村上 義彦
宮元 司
石原百合子
山下 学
大塚 洋子

元旦に新茶美味し気も新らた今日健やかに九十二つ
あれなにと問い来たりなば正確に答えてやろう孫と見る空
歌を詠む澄みしころの嬉しくて詠まねばならぬこれからも尚
幸わせや孫の結婚終りしや一事済んで次ぞ待つ成りや

鷺出 成人
中飯屋辰子
宗方 正喜
町田 末則